


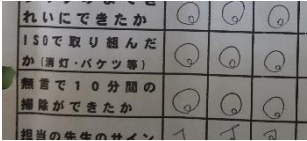



平成 2 8 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
阿蘇	南小国町	南小国中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>【生徒総会にて議題となった各委員会のスローガン】</p>  <p>【生徒総会で質疑に応じる環境委員長】</p> 	<p>環境委員会を中心に話し合い、環境 ISO 宣言項目を以下のように定めた。</p> <p>①「声をかけあうマイエコ宣言」を実施し、環境に対する個々の意識を高めます。</p> <p>②PTA 奉仕作業で、運動場の学習環境を整えます。</p> <p>③グリーンカーテンで、夏場の消費電力をおさえます。</p> <p>④無言掃除を行い、身の回りの環境に気づく心を育てます。</p> <p>⑤使用水道量、使用電力量の昨年度より減少を目指します。</p> <p>⑥ペットボトルのキャップを 10000 個集めます。</p> <p>⑦牛乳パックを集め、イスを作ります。</p> <p>このうち、①③④⑤については環境委員会を中心に、⑥⑦については代表委員会を中心に、②については PTA を中心に取組を進めた。③④⑥については、クラス討議において、各委員会のスローガンとして提案し、生徒総会で承認を受けた。</p>
行動	<p>【エコ宣言の木】</p>  <p>【グリーンカーテン】</p>  <p>【学級園の整備】</p>	<p>上記の宣言に従い、行動に移った。ここでは、①③④⑥⑦の宣言について説明する。</p> <p>《①『声をかけあうマイエコ宣言』を実施し、環境に対する個々の意識を高めます》について》</p> <p>環境委員会より提案し、全校生徒でマイエコ宣言に取り組んだ。それぞれの生徒が「節水」「節電」「その他のエコ活動」の 3 つのテーマの中から選択し、それぞれが選択したテーマに従って、個人で取り組むエコ活動を具体的に設定した。全校生徒で確認できるようエコ宣言の木に、個人のエコ宣言を記入した花を貼り付け、生徒昇降口に掲示することで、意識付けを行った。</p> <p>《③「グリーンカーテンで、夏場の消費電力をおさえます」について》</p> <p>環境委員会でゴーヤに加え、同じツル科の植物の朝顔を植えて、グリーンカーテン作りを行った。苗を植える時期が遅くなり、目標としていた「2 階部分全部をグリーンカーテンで覆うこと」まで達することはできなかったが、1 階部分はとても涼しくなった。また、朝顔も同時に植えたため、「過ごして涼しい、食べて涼しい、見て涼しい」グリ</p>

	 <p>【ペットボトルキャップ】</p>  	<p>ーンカーテンを作ることができた。さらに、今年度は生徒総会で話題になった学級園づくりを全校生徒で取り組んだ。校長先生に育てていただいた花の苗をそれぞれの学級で学級園に植え、夏から秋にかけて、学級園にはきれいな花が咲き乱れた。</p> <p>《④「無言掃除を行い、身の回りの環境に気づく心を育てます」について》</p> <p>本校は、伝統的に無言掃除に取り組んでいる。今年度は環境委員会のスローガンを「無言で育つ気づきの心」と設定し、環境委員会の重点事項として取り組んだ。掃除時間には生徒会長と環境委員長が見回り隊として校内を回り、無言掃除の徹底にあたった。</p> <p>《⑥⑦「ペットボトルのキャップを10000個集めます」「牛乳パックを集め、イスを作ります」について</p> <p>キャップ、牛乳パック収集については、代表委員会を中心に取り組んだ。各学級にキャップ回収ボックスを設置し、キャップ及び牛乳パック収集への協力を定期的に呼びかけた。今後、集まった牛乳パックで椅子を作り、福祉施設や公民館で利用してもらう。また、ペットボトルのキャップは、昨年度同様に、ポリオワクチンにあてる予定である。</p>
<p>記録</p>	<p>【掃除チェックシート】</p> 	<p>無言掃除の取組では、見回り隊が無言掃除の実施状況をチェックし、記録に残していった。また、各掃除場所でも、掃除の終了時にグループごとに掃除の反省をし、担当の先生からの確認を受け、次回の掃除につなげた。</p>
<p>見直し</p>	<p>【結果分析の様子】</p> 	<p>代表委員会を中心にペットボトルキャップや紙パックの収集状況を確認し、目標に達していなかったため協力への声かけを行った。また、環境委員会では、エコ宣言実施後のアンケート結果を集計し、分析した。「マイエコ宣言は守れたか」という質問に対しては、95%以上の生徒が「よくできた・まあまあできた」という肯定的な回答だった。多くの生徒が意識して取り組むことができていたことがわかる。今後も高い意識を継続させながら、他のテーマにも挑戦したり、個々の取組の質を向上させたりできるよう声掛けをしていく予定である。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・無言掃除においては、とても真面目に取り組んでおり、生徒それぞれ、気づきながら、考えながら掃除に取り組むことが出来ている。 ・全学級で学級園づくりに取り組んだり、マイエコ宣言に取り組んだり、生徒会を中心に宣言事項に取り組んだことで、全生徒がISO活動に関わることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用量と電気使用量を昨年度と比較すると増加が見られた。 ・マイエコ宣言の取組が10月からとなった。家庭での取組につなげるためにも、水道使用量や電気使用量が増える夏期よりも前に取組をスタートすべきであった。 ・学校においてだけではなく、家庭におけるエコ宣言にも取り組ませながら、取組を短いスパンでチェックする仕組みを確立する必要がある。 ・エコ宣言についての取組は、提案した後、それぞれに任せっぱなしになった。来年度は、日常的に取組を意識できるような工夫を行う必要がある。 ・教職員、家庭に対する呼びかけ、啓発が不足していた。